

安全方針

当社は、東京～父島間の定期航路を担う運輸事業者として、
「安全で信頼感のある良質な海上輸送サービス」を通して社会に
貢献することを、経営の基本理念としております。

この基本理念に則り、安全確保は最大のサービスとの基本
意識に立ち、関係法令を遵守し、「安全最優先」の徹底に
全社を挙げて取り組みます。

令和5年7月1日

小笠原海運株式会社

代表取締役社長

石川寛治

令和5年度安全重点施策

I. 『スリーゼロ』の達成を目指す

- ・『スリーゼロ』とは「海難事故ゼロ」、「人命事故ゼロ」、「漏油事故ゼロ」を指し、その対策として、本船、本社、父島営業所、貨物荷受所、代理店での意思疎通及び連携を強化する

II. 教育・訓練を充実させ安全に関する意識の向上を図る

- ・乗組員、陸員ともに安全意識を高める「教育・講習会」の参加、受講を推進する
- ・外部講師を招いて講習を実施し、「知識・理解」を深める
- ・若年層への安全教育を実施し、安全への「意識・アンテナ」を磨く

III. ヒヤリハット情報の収集・分析・活用

- ・ヒューマンエラーの主因である「油断・慣れによる思い込み」に起因する不注意を防止する
- ・同様または類似事例の再発防止及び予防に努める
- ・陸員の定期的な訪船により、乗組員との意見交換、情報収集を強化する